

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	711-70ホ-u 春桜 IF	評価実施年月日	平成19年6月22日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名	島田 淑子	記録年月日	平成19年6月26日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>開所時からその人らしく生きろ理念をかかげています</p>		<p>地域の中にあるその人らしく生活できるように外出等も工夫しています</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>常に理念を念頭に置き、実践にあけて日々取り組んでいます</p>		<p>見やすい場所に理念の書かれた用紙をかかげ、理念を記入のあきカードを携帯しています</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>理念を理解していただけるように工夫し取り組んでいます</p>		<p>パンフレットはもとより、家族や地域に発行している「春桜たより」にも理念を載せています</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>隣近所の方々との日常的なあいさつをしています</p>		<p>前庭にユースターを設け、気軽に立ち寄ってもらえる環境も工夫しています</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>事業所の経営者から自ら、町内会の行事に参加し、交流に努めています</p>	○	<p>ホールの職員も町内会の行事等に積極的に参加する予定です</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議にて、町内会長や民生委員の方々に、町内で役立つ事をお聞きし、取り組もうとしています</p>	○	<p>町内会の方々の意見をお聞きし実施する予定です</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価を活かし、改善点(はすみやかに)改善し、実行しています		前回(18年)に受けた曾改善事項(9項目)に際し、全2改善しています
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームでの生活の様子も委員の方へ説明し理解を得ています	○	町内の1人でも多くの方々にグループホームについての理解を深めていただくために春桜祭り等の行事に参加しています。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市町村担当者の方(地域包括支援センター)は多めにため、おかしおかし出席がかわり、会議の内容報告は文書にて毎回行っています	○	地域包括支援センター以外からも担当者の出席をお願いする。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	・権利擁護に関する研修会に積極的に参加し、成年後見制度について学んでいる。 ・ホーム入口に内容について掲示しています		「全国グループホーム大会」及び「北海道高齢者研究会」(19年度)等の研修に参加し学んでいます
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	北海道が開催している「身体拘束禁止推進委員研修会」に参加し、学び、虐待のないホームにしています		入居者の身体の状態のチェック(特に入浴時)と記録に残し、家族に報告しています。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な説明を行った上で、契約し、家族等の理解・納得を図っています		重要事項説明書に沿って説明し同意のサインをいただいています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営規定の中に、項目を設け説明を しており、不満や苦情を受け入れる体制 をつくっています	○	運営推進会議への参加に2. 外 部者へ不満、苦情を表せる機会を 設けています
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状 態、金銭管理、職員の異動等について、家 族等に定期的及び個々にあわせた報告を している。	ホームと2は年4回の季刊紙の発行の他、 各階が工夫をし、利用者の暮らしぶりや 行事について報告をしています		「春桜たより」「春桜メール」 「春桜便り」「春桜ノート」
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や 職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている。	運営推進会議の中で、家族の代表者か ら意見を受けています	○	「家族会」の発足を予定しています
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の 意見や提案を聞く機会を設け、反映させて いる。	カンファレンス、リーダー会議、春桜運営会議 で出された意見や提案を聞き、反映さ せています		花だん作りや、行事等意見を反映 させています
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔 軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職 員を確保する為の話し合いや勤務の調整 に努めている。	入居者の心身的な重度化や、危険の可能性 がある場合は、スピーディーに勤労力を調整 し対応しています		2人夜勤や時間外勤務弱に2人対 応しています
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や 職員による支援を受けられるように、異動 や離職を必要最小限に抑える努力をし、代 わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配 慮をしている。	管理者と計画作成担当者2名は、オープン (5年間)当時より変わっていない。各階の職 員配置、正職員の1名増加やパート賃金 の値上げ等、努力をしています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新人オリエンテーションを始め、経験者や勤務年数に応じて法人内外の研修も受ける機会を確保し、実践しています		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同じ地域でのグループホームの管理者会議やケアマネジャーの会議に積極的に参加し、ネットワーク作りをしています	○	厚別区のグループホームが相互に職員の見学会を行ない、交流を深める予定があります
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	休憩場所と時間帯を確保し、ストレス軽減する環境をつくらせている。又、悩み等を気軽に話せるよう工夫しています		各階のカンファレンス(月2回)の中で、仕事に関する悩みや不具合を出してもらっています
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	各自が自ら資格を取る意識が強いので、研修や講座受講に関して、休日も勤務時間の工夫をしています		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ホームの見学をゆっくりしていただき、その後、お茶を飲みながら、なるべく多く、本音の気持ちを聞く機会を作っています		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居相談、ホーム見学、判定見学、契約時説明等と、状況に合わせて2~3~4回は家族等からよく聴く機会をつくり努力しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	デイケアやショートステイや老人ホーム等、本人と家族の状況や希望に合わせた対応を行っています	○	グループホームへのショートステイ利用をすすめています
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に必ず、本人をホームに招いて、相互の意思を確認するよう努めています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	共に生活する1人の人として生活の中から学んだり、支えたりしています		新しいものを教えていただくとか、人間関係のツボを教える等。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族の方とは小さな事でも相談し、サポートを提供しています。		家族の方からの意見や、ホームからの伝達事項を細かく記録し、検討しています
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族との関係を見極め、より良い関係にできるように支援しています。(センター方式の記録も活用)		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の方の力を得ながら、又、相談し、サポートしています。(センター方式の活用)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	申し送りや言記録から利用者同士の関係も把握し、食事の席やくつろぎの場所の確保、等を工夫し、実践しています。		難聴の方が多い、意志の疎通を図るために、細かく面談しています。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	現在まだ、退所後も継続的に関わりを必要とする事例は多かったですが、病院への面会は今なくなったみたいです。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式のアセスメントを利用し、本人の希望や声を言記録し、それに添った暮らしができるよう検討しています。		本人の思いや希望の把握が困難な場合は、家族の方にお聞きし、検討しています。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族の方からの聞き取りや、センター方式のアセスメントの中から、生活歴や馴染みの暮らし方の把握に努めています。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの暮らし方を強制する事なく、本人の状況にあった生活を家族の方と相談しながら提供しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ケアプランニングの実施(月2回)と本人、家族の希望の言記録も合わせ、ケアプラン作成をしています。	○	介護支援専門員の面談をしたいと思います。(できれば、現在いる職員の中で資格を取ってほしいです)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>37 ○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>カンファレンスの中で、ケアプランの見直しや、現状に即した新たな計画を作成しています。</p>		<p>原則的には3ヶ月毎の見直しですが、変化に応じて作成しています</p>
<p>38 ○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。</p>	<p>日々の細かな出来事や心の動きも個別記録に記入しています。申し送りやカンファレンスで情報も共有し、ケアプランやケアの実践に生かしています</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
<p>39 ○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>（ワラビ病院（内科・歯科）への受診や、（ハビリ）からの助言等柔軟な支援をしています</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
<p>40 ○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>地域の小学校行事に参加したり、当ホームの行事では、高校生の音楽演奏や、ボランティアの参加と地域と協力しながら地域資源と協働しています</p>		
<p>41 ○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	<p>ベットのリースや補助具や車いすの見直し等についてケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、利用する為の支援をしています</p>		
<p>42 ○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>今のところ地域包括支援センターとの協働はしている事例はありません</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ホーム長が看護士のため、気軽に相談でき、日常の健康管理や医療活用の支援をしています		母体のパワロ病院の外米看護士にも気軽に相談し支援しています
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	母体のパワロ病院のかかりつけ医や提携している半青神牛病院等の専門医に受診し、診断や治療を受けられよう支援しています		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ホーム長が看護士のため、気軽に相談をしながら支援しています		「状態用紙」という記録の形式に心身の状態や受診について記入しています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	母体とあきパワロ病院や、その他連携している病院と協働し、入退院がスムーズに行なえるようにしています		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入所時より本人あるいは家族から希望を聞き、話し合いを行なっています。又、重度化の、できるだけ早い段階からかかりつけ医と相談し、本人と家族とも話し合っています。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	利用者の心身の状態変化には、すみやかに家族に報告し、かかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換 を行い、住替えによるダメージを防ぐことに 努めている。	家族の方との情報交換をしっかりと行い、住替え によるダメージを最小限に防ぐ事に重きを 置き、カンファレンスでも充分に話し合っている と思います		できる限り、本人の希望に添った部屋 のしつらえや好みも尊重し実践してい ます
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる ような言葉かけや対応、記録等の個人情報 の取扱いをしていない。	人生の大先輩としての尊厳を保ち、常に言葉や態 度に失礼のないように配慮しています。プライバシーの 保護を徹底し、申し送りや記録の中でも、個人 名はイニシャルを用いています		入居時に個人情報保護に関する 説明を行ない同意を得ています
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている。	思いや言葉にできるタイミング等は、表情や仕草か ら読み取れる様に常に注視をしております。 生活の中で自己決定できるようにわかる力に合わ せた説明をし納得していただく支援をしています		本人の行動力の前後の状況から考察し安 心して過ごせるように、個々に応じた支 援をしています
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそって 支援している。	その日その様子や仕草から、本人の希望のペース を見つけ出し、その人に合った1日の過ごし方を 支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援し、理容・美容は本人の望む店 に行けるように努めている。	女子のおしゃれやいふきよう支援しています。 理容・美容は4つのコースがあり、それぞれの望 むコースを毎回選ぶ事ができます		① 行きたい美容室。 ② 近くの美容室 ③ 10分以内にある理容室 ④ 近所美容室。 } 4つのコース
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員がその人に合わせて、一緒に準備や食 事、片付けをしているか。	できるだけ多く参加していただくよう、又、その人 の好みや力に合わせて、項目を多くし(野菜のみ、 そやきの取り、盛り付け、お米、おしぼりたたみ、お膳 月巻、食器洗い、片づけ、テーブルなど)利用者職員 共に食事に参加する事を行っています。		できる限り積極的に参加していただくよう う工夫しています。(声かけやお礼)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	本人や家族の方から好みものも聞け。午前や午後のお茶うけや食後のデザートとして提供しています		入浴後や夜のテレビを楽んでいるときに個別に飲み物や食べ物を差し出すようにしています
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄の記録を記入し、パターンを把握しており、サインや様子を見れば素早く対応して、失敗を防いだり、いちいちトイレに紙パンツを使用しても、なるべく早く布パンツにできるように支援しています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	一人ひとりの希望やタイミングを重視して、強要する事なく、希望に合わせて入浴を楽しんでいただいています		準備から入浴まで長い時間が必要な方には入浴を1名にしたり、体調不良を訴えるときには足浴のみにする等、清潔と楽しみの工夫をしています。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	記録により、一人ひとりの生活のパターンを把握しており、その様子に応じて休息や眠れるように支援しています		不眠だと不穏状態になる方には、さり気なく入床を促したり、1日中居間にいると疲れてしまう方にはお部屋で休んでもいただくよう声かけをしています
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	センター方式のアセスメントや日々の暮らしや言葉の記録から、一人ひとりの役割・楽しみ等を把握しており、その様子に合った過ごし方を支援しています		一斉に家事や庭仕事等をしたときには役立ちたい事が伝わるような感謝の言葉やお礼の気持ちを表わしています
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	病院の売店に行ったり、車を利用して大型スーパーに行ったりと、一人ひとりの希望や力に応じてお金を所持したり使えるように支援しています		日常的にはお金も持たない方でも、買い物に行き、預り金の中から支払ってもらい、使える楽しさを支援しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○日常的な外出支援</p> <p>61 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>冬の寒い日や雨の日以外は、ほぼ毎日のように戸外へ出て日光浴や花壇の見学をしています。冬場（は、ハロウ病院の売店や喫茶店の利用等、希望にそって支援しています。</p>		
<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>62 一人ひとりが言ってみない普段はいけなところ、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>日用品の買い物にホームック等に行ったり、温泉やお花見、紅葉見学に行っています</p>	○	<p>お花見や紅葉見学等、大型バスを使用してのときは、家族の方と一緒に楽しむ予定をしています</p>
<p>○電話や手紙の支援</p> <p>63 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があるときにはいつでも電話をかけさせていただきます。又、手紙のやり取りも自由にさせていただきます。</p>		<p>紙手紙や年賀状等、本人の希望にあわせて、職員と一緒に書いています</p>
<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>64 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>ホールのいたる所にソファやイスを置き、居間や個人の部屋以外にも居心地よい空間をつくり、過ごしています。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援			
<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>65 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員全員が身体拘束の具体的な行為を理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます</p>		
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員全員が鍵をかけることの弊害を理解しており、居室や日中玄関には鍵を掛けていません</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>67 ○利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>ハード面では、利用者の所在や本拠子を把握できる設備に努めており、安全に配慮しています。又、可能限はいろいろな業務をこなすことも安全に暮らせるよう配慮しています。</p>		
<p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>一人ひとりの身体的・精神的な状態を考慮し、その人にあった取り組みをしています。台所の包丁は金庫のかかる引き出しに保管しています。</p>		<p>刃物に刃物ナイフ・金庫道具・金庫物については、状態に応じて家族とも話し合い、危険と判断した場合は、すみやかに回収しています。</p>
<p>69 ○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>インシデント・アクシデント用紙の記入によって、一人ひとりに対しての注意事項を矢張り、事故防止の対策に役立てています。</p>		<p>インシデントの内容は職員間ですみやかに周知し、防止策に取り組み、実施しています。</p>
<p>70 ○急変や自己発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>毎月10日も転倒予防デーとしており、はき物のチェックや、事故発生時の対応等の確認をしています。</p>		<p>応急手当や初期対応のマニュアルを見やすい場所に貼付し、急変や、事故発生時に備えています。</p>
<p>71 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>年1回～2回の避難訓練を行い、職員は利用者も避難できる方法を周知している。母体病院との連携を図っています。</p>	○	<p>運営推進会議の中で、町内との連携について話し合う予定です。</p>
<p>72 ○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>ケアプランの説明時や、家族の来訪時等の話し合いの中で、走ることによるリスクを説明し、対応策を話し合っています。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	1日おきに定期的なバイタルチェックを行い排泄の状態や水分摂取量や食事量のチェックをし変化や異変はすみやかに看護師と母子ホーム毎に報告し対応しています		定期的なバイタルサインチェック以外にも表情等から体調の変化を毎観察し、測定しています
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりの薬の形状や作用・副作用が書かれてある説明書があり、理解しています。又薬を保管している場所には赤字で目立つよう注意事項が書いてあり事故防止に努めています		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排泄チェック表により、便秘のチェックを行っています。一人ひとりの便秘の原因を突き止めに身体に影響を及ぼさないよう飲食物の工夫や散歩、腹部マッサージをしています		飲食物の工夫としては、ヨーグルト・オリゴ糖、さらに、牛乳を毎日摂取できるようにしています
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一人ひとりの口腔状態や力に応じて、歯みがき介助や指導を行っています。本人、家族の希望や状態に応じて、歯科受診するよう支援しています		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの食事量、水分量を言い記録し、1日の栄養バランスや水分量のチェックをすみやかに行う。不足のないように対応しています。		毎日の業務日誌に水分量・食事量の不足の人数を書き、1日のトータル量を確保するよう工夫しています
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防、対応マニュアルに添った実行しています		食中毒に関しましては台所の貝やおい場所に用紙を貼って意識して取り組んでいます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○食材の管理</p> <p>79 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>調理用具の消毒・食材の管理についてのマニュアルがあり、実行しています</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>80 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>ホールの前は、全体的に花壇を設け、土間の花や作物を植えて彩りするようにしています。又、ベンチやテーブルを配置して憩いの空間を確保しています</p>		<p>玄関は段差をなくし、スロープにしています。手すりやつかま所を工夫しています。</p>
<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>81 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間には、季節の花を飾り、季節感を採り入れています。不快な音や光がたないように、常に配慮し、カーテンの使用やテレビ、CDの音にも注意し調節しています</p>		
<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>82 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>玄関ホールや廊下にもソファやイスを置き、自由に過ごせるような居場所の工夫をしています。</p>		
<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>83 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人や家族の方と相談しながら、使いなれたものや好みのものを置き、居心地よく過ごせるよう工夫しています。</p>		
<p>○換気・空調の配慮</p> <p>84 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>温度計や湿度計のチェックを定期的に行ったり、利用者の状況に応じて、換気に努め、こまめに調節しています</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建築物は車イスや歩行器を使用できるようにトイレ洗面所・浴室・台所をかなり広くスペースを確保しており、手すりもいたるところに設置して、安全かつできるだけ自立できるようにしています。</p>		
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>白黒の言合録やセンター方式のアセスメントから、一人ひとりのわかる力を活かし、自立して暮らせる工夫をしています。フラグバナーに両面鏡をつけてからトイレの誘導をしています。</p>		<p>できる事をさり気なくしていただけるように、声かけやきかけのタイミングを図っています。</p> <p>トイレにわかりやすい表示をしています。</p>
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>花畑を楽しめるテーブルやベンチを置き自由に散歩したり、座って楽しめるようにしています。木陰にもベンチを置き、違った景色を楽しめるように工夫しています。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない</p> <p>毎日の申し送りやセンター方式のアセスメントを通して話し合い共有にしています</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない</p> <p>食事やお茶の時間には必ず一緒に過ごします。散歩やテレビを見る、紙手紙や折り紙、ゲーム等、ゆっくり楽しく過ごしています</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>一人ひとりが本人のペースで暮らしています。栄養状態や清潔を保つ事を念頭に置きながら、一人ひとりのペースをくずさないような工夫をしています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>明るい笑顔、話し声、態度等から、生き生きしている姿が見えます</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>本人の申し出のあるところへは、出かける努力を惜しみません。散歩等は当然ですがお墓参りや遠方へも家族の方の協力を得ながら出かけるようにしています</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>定期的な受診や体調不良時の受診と医療面では素早く対応しています。又、IHキッチンやスプリンクラーの設置、消防署への通報装置の設備があり、安全面でも配慮しています</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>業務日誌や申し送りの内容を職員が毎日きちんと把握し、利用者の状況の変化や要望に文書で柔軟な支援ができるよう努力しています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない</p> <p>家族の方からの要望や希望を記録に記入し、実現でききように努力しています。又、職員間で記録を読み、同じ対応ができれば信頼関係をつくりたいと思っています</p>

V. サービスの成果に関する項目

項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p> <p>他職員のボランティアの方から入る時もあり、また、地域の方にも気軽に呼んでいただくような工夫が必要です</p>
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない</p> <p>町内会長さんや民生委員の方を通じて事業所の理解者が増えていると思います</p>
98 職員は、生き生きと働いている	<p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどない</p> <p>職員の人数も十分に確保し、休憩時間や場所の配慮も行ない、ストレスをためないようにしています。心身共に疲れをためないようにしています。離職者が少ない事も生き生き働いていると思います</p>
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどない</p> <p>利用者の明るい表情や、落ち着いた生活態度からみて、おおむね満足されていると思います。</p>
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどない</p> <p>家族の方は、世話をしてもらっているという気持ちから、なかなか不満等を言えないかも知れませんが、その点を十分配慮して、意見や不満を出してもらおうにしています。</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- ・グループホームとしては広い空間が特色です。歩行器や車イスの使用の利用者の対応ができます
- ・バリア病院と連携し、廊下でつなげていこうとして、受診しやすく、健康状態のチェックが素早くできます
- ・看護師が常にいるので、日々の体調の変化にも素早く対応できます